

ごあいさつ

皆さま方には、平素から私ども愛媛銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

本年もここに、当行の経営理念、基本方針、営業の概況や地域との関わりなどについて取りまとめたディスクロージャー誌「ひめぎんの現況2003」を発行いたしましたので、ご覧いただき、より一層のご理解をいただければ幸いです。今後ともこれまで以上にディスクロージャーの充実を図り、経営の透明性の向上に努めてまいります。

さて、当行は昭和18年の創立以来「親しまれ、信頼される銀行」を目指し、地域金融機関としての社会的責務を果たしながら今日まで着実に発展してまいり、おかげさまで今年3月に創立60周年を迎えることができました。これもひとえに皆さま方の長年にわたる温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

ご高承のとおり、銀行業界にありましては健全性の向上に向けた不良債権処理の大幅積み増しに加え、株価下落に伴う有価証券減損処理により多くの金融機関で収益の大きな悪化を余儀なくされるなか、自己資本の増強に向けた取り組み、経営統合や提携・再編による生き残りを賭けた動きが一層活発になっております。このような金融情勢の中、当行は将来に亘って安定的な収益を得られる体質を確立するため、不良債権の一層前向きな処理に加え、現況の株価動向を勘案した保有株式の減損処理を実施いたしました結果、たいへん厳しい決算となりました。

今後はより一層、地域の皆さまから親しまれ、信頼される「ふるさと銀行」として、皆さまのご要望にお応えできる金融サービスの充実に向け、地域社会の発展に役職員一同全力を尽くしてまいります所存でございます。

今後とも、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたしますとともに、皆さまの一層のご健勝をお祈り申し上げます。

平成15年7月

頭取

一色哲昭



頭取 一色 哲昭

目次	
ごあいさつ プロフィール.....	1
ひめぎんのあゆみ.....	2
経営理念.....	4
営業の概況.....	5
当行の考え方.....	8
ひめぎん TOPICS 2003.....	15
えひめ TOPICS -愛媛県からのお知らせ-.....	16
営業のご案内	
預金業務.....	18
貸出業務.....	20
信託代理店業務.....	22
証券業務・国際業務.....	23
サービス業務.....	24
役員.....	27
組織・ひめぎんグループ.....	28
株式および従業員の状況.....	30
資料編.....	31
ひめぎんネットワーク.....	63
店舗一覧.....	64
A T M ・ C D 設置場所.....	66

本冊子は銀行法21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

プロフィール

名称	株式会社 愛媛銀行
所在地	松山市勝山町2丁目1番地
設立	昭和18年3月20日
資本金	135億5千万円
預金	1兆4,486億円（譲渡性預金含む）
貸出金	1兆1,970億円
店舗数	93店舗（本支店90、出張所3）
行員数	1,439名

（平成15年3月末現在）

（写真：松山中央公園野球場 坊っちゃんスタジアム）



ひめぎんのあゆみ

皆さまと共に60年。 これからも歩み続けます。

昭和18年3月設立

昭和20年代	昭和30年代	昭和40年代	昭和50年代	昭和60年代	平成元年	平成10年代																											
昭和18年 愛媛県内の無尽会社5社が合併し	昭和23年 高橋作一郎社長就任	昭和26年 相互銀行に転換、愛媛相互銀行となる	昭和28年 内国為替業務開始	昭和32年 資金量百億円達成	昭和35年 本店を松山市勝山町に新築移転	昭和41年 資金量五百億円達成	昭和42年 経営相談所開設	昭和43年 高橋作一郎会長、高田周蔵社長就任	昭和44年 資金量一千億円達成	昭和47年 当行株式、大阪証券取引所第一部へ上場	昭和48年 愛媛県指定代理金融機関となる	昭和49年 資金量三千億円達成	昭和50年 外国為替公認銀行となる	昭和52年 東京事務所開設	昭和53年 資金量五千億円達成	昭和56年 資金量六千億円達成	昭和58年 財団法人愛媛（相互）銀行ふるさと振興基金設立	昭和59年 海外コルレス業務開始	昭和60年 M M C取扱開始	昭和61年 当行株式、東京証券取引所第一部へ上場	昭和62年 東京オフショア市場参加	平成元年 資金量一兆円達成	平成2年 普通銀行に転換、愛媛銀行となる	平成3年 宮武隆会長、森信義頭取就任	平成4年 貯蓄預金・スーパー積金取扱開始	平成5年 新オンラインシステム「WINDS21」稼働	平成6年 信託代理業務の取扱開始	平成7年 海外投資貿易相談所の設置	平成8年 今治地区センター設置	平成10年 今治地区センター設置	平成11年 伊予三島地区センター、大洲地区センター設置	平成12年 ひめぎん住宅ローンセンター今治（今治支店内）オープン	平成13年 一色頭取 第二地方銀行協会会長に就任



平成14年

- 平成14年 1月4日 確定拠出年金取扱開始
- 1月21日 新インターネット・モバイルバンキング
- 1月24日 第74回ひめぎんセミナー開催
- 3月1日 「ひめぎんスピードアップカードローン」取扱開始
- 4月18日 「財）愛媛銀行ふるさと振興基金 第19回ふるさと振興賞」顕彰式
- 5月12日 第18回ひめぎん杯テニス大会開催
- 5月26日 第26回囲碁フェスティバル開催
- 5月27日 新勤定系・情報系端末機全店稼働
- 6月10日 「スピードビジネスローン」大声援」取扱開始
- 8月1日 「ひめぎんエコ・マイカーローン」取扱開始
- 8月12日 第37回松山まつり「野球拳おどり大会」参加
- 9月26日 「スピードビジネスローン」大声援V」取扱開始
- 10月1日 生命保険窓口販売取扱開始

平成15年

- 平成15年 3月20日 創立60周年
 - 3月3日 「ひめぎん宝くじ付定期預金」取扱期間延長
 - 2月3日 「ひめぎん住活ローン・おまとも型」取扱開始
 - 6月1日 第27回囲碁フェスティバル開催
 - 5月11日 第19回ひめぎん杯テニス大会開催
 - 5月6日 新国際系・情報系システム稼働
 - 5月1日 「ひめぎんおまかせ住宅ローン」取扱開始
 - 4月22日 「財）愛媛銀行ふるさと振興基金 第20回ふるさと振興賞」顕彰式
- おかげさまで創立60周年を迎えました。
ひめぎんは地域の皆さまと共に歩み、



I. ふるさとの発展に 役立つ銀行

ふるさとの銀行として、地域とのつながりを大切に、お客さまのニーズに適したきめ細かな総合金融サービスを提供することによって、ふるさとへの創造的貢献と発展のために役立ち、愛され、信頼される銀行となります。

II. たくましく 発展する銀行

ふるさとしっかりと根を下ろし一段と高度化、多様化するお客さまのニーズに的確に応えるために、業務を積極的に展開し、一層の経営効率化と健全経営を推進して、変化に強い、強靱な体質をつくりあげます。

III. 働きがいの ある銀行

行員一人ひとりが自己研鑽を行い、革新的で創造性のある能力の向上を図り、それが反映できる職場環境をつくり、人材育成と組織強化をもって、地域になくてはならない銀行となります。



愛媛銀行の行章

地元で愛され、親しまれることを基本理念として、片仮名でエヒメを图案化したものです。エを円形にデザインし、お客様と銀行が固く結ばれ、お客様とともに、永遠の繁栄を表現したものです。(昭和27年10月制定)

第10次中期経営計画

(平成13年4月～平成16年3月)

～新世紀への挑戦～

【推進テーマ】：『スピード アンド イノベーション』

3つの基本方針を掲げ、重点施策とそれに連なる具体的施策を推進しております。

特に、「お客さま第一主義」を基本方針の最初に掲げた上で、引き続き“健全性の向上”“収益力の強化”に努め、お客さま、株主の皆さま、市場からより一層信頼される銀行を目指し取り組んでおります。

..... 基本方針

1. お客さま第一主義の徹底

お客さまの様々なニーズに合わせ、常にお客さま中心を志向したマーケット・インでの金融サービス、金融商品提供へと移行していき、お客さまのニーズに合わせた金融商品をお客さまの望む方法でタイミングよく提供できる体制を構築してまいります。

2. 健全性の向上

コンプライアンス体制の確立と自己責任原則に基づいたリスク管理の強化により、常に健全性の向上に努めてまいります。

3. 収益力の強化

資産の効率的運用とBPR（業務再構築）による効率化の推進により金融環境の変化に耐え得る収益基盤を確保し、内部留保に努めます。



本店



研修所



営業の概況

～平成14年度決算の概要～

金融経済環境

当期のわが国経済は、年度始めにかけて輸出や生産で下げ止まりの動きが強まったことから、依然厳しい環境ながらも景気底入れに向けた動きがみられました。しかしながらその後も失業率は高水準で推移、これまで景気の下支えをしてきた個人消費までもが低調な推移を辿りました。また、企業の生産鈍化に伴う設備投資の弱さに加え、米国経済の減速もあり、平成14年度の名目経済成長率も引き続きマイナスとなるなどデフレが一層深刻化いたしました。そうしたなか、イラク戦争の世界経済に及ぼす悪影響の懸念もあり、年度末の日経平均株価は21年ぶりに8,000円を割り込むなど世界経済への不透明感が一層強まったこともあり、政府に対し早急なデフレ対策が望まれているところでございます。

当行が主たる営業基盤としております四国地区におきましても全国以上に年度末にかけての景況感は悪化するなど大変厳しい状況が続きました。依然として高水準の企業倒産に加え、雇用・所得環境が厳しさを増したことから個人消費や住宅着工は低調に推移、さらに公共工事も前年割れを余儀なくされるなど、総じてデフレを伴った景気後退が目立つ、大変厳しい状況が続きました。

一方、銀行業界にありましては、健全性の向上に向けた不良債権処理の大幅積み増しに加え、株価下落に伴う有価証券減損処理により多くの金融機関で収益の大きな悪化を余儀なくされるなか、自己資本の増強への取り組み、経営統合や提携・再編による生き残りを賭けた動きが一層活発になっております。

このような金融経済情勢の中、当行は将来に亘って安定的な収益を得られる体質を確立するため、当期における不良債権処理の一層前向きな処理に加えて、景気と同様に低迷する現況の株価動向を勘案した保有株式の減損処理を実施いたしました。

当行の対処すべき課題

金融システムが抱える不良債権問題に対し、金融庁は昨年10月に「金融再生プログラム」を取りまとめるとともに、地域金融機関に対してはリレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラムが公表され、中小企業金融再生、健全性確保、収益性向上に向けた取り組みを求められております。

このような厳しい環境のもと、健全性を保ち、今後とも当行が地域経済で求められる役割を担い続けるため、平成13年4月より「第10次中期経営計画」に取り組んでおり、今年度がその最終年度となります。“お客さま第一主義の徹底”を基本方針の第一に掲げ、常にお客さま中心を志向した金融サービス・金融商品の提供に努めるとともに、健全性の向上と収益力の強化により、強靱な経営体質を構築し、情報開示を通じて透明性の高い経営に取り組む所存でございます。

皆さまのおかけをもちまして、当行は今年3月に創立60周年を迎えました。これからも「ふるさと銀行」として地域の皆さまから信頼され、ふるさとの発展に役立つ銀行を目指してまいります。

当期の業績

このような大変厳しい経営環境のもと、当行は『スピード アンド イノベーション』を推進テーマに、平成13年4月より「第10次中期経営計画」をスタートいたしております。特に“お客さま第一主義”を基本方針にあげ、常にお客さま中心を志向した金融サービスの実践と業績の向上に役職員一丸となって努力してまいりました。

その結果、次のような業績となりました。

預金・譲渡性預金

前期同様に超低金利での預金金利ではありましたが、個人預金を中心に推進いたしました結果、期末残高は244億円増加し、1兆4,486億円となりました。

貸出金

地元中小企業および住宅ローンをはじめとした個人向けを中心に積極的な貸出に努めましたが、長引く景気低迷に伴う企業の資金需要の弱さを受け、期末残高は31億円減少し、1兆1,970億円となりました。

有価証券

公社債を主体に引き受けましたが、株価下落による減損処理もあり、期末残高は276億円減少し、2,110億円となりました。

損益状況

資金の効率運用と経費削減に引き続き努めましたが、景気低迷やデフレの長期化による新たな不良債権の発生が懸念される状況のなか、より厳格な資産の自己査定を行い、一層前向きな不良債権処理の実施および有価証券減損処理の結果、当期損失187億円を計上することとなりました。

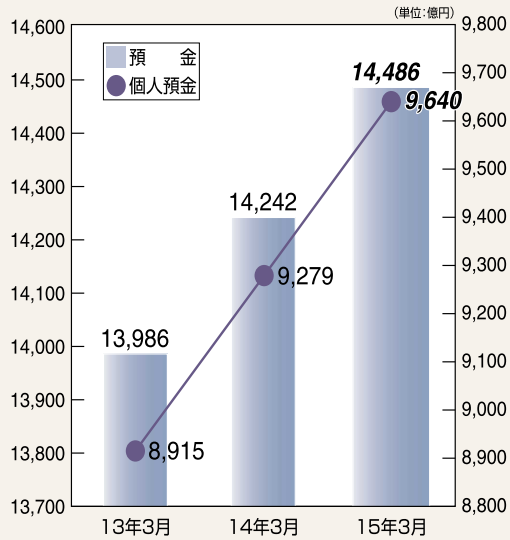
設備投資等

店舗関係につきましては、平成15年3月に上一万支店を本店営業部に統合いたしました結果、期末現在93か店の店舗数となっております。なお、店舗外現金自動設備は、フジグラン西条SCなど3か所に設置し、150か所となりました。

「親しまれ、信頼される銀行」を目指して

預金(譲渡性を含む)の推移

- 超低金利での預金金利ではありませんでしたが順調に増加いたしました。
- 個人預金を中心に推進いたしました結果、前年同期に比べ244億円増加いたしました。

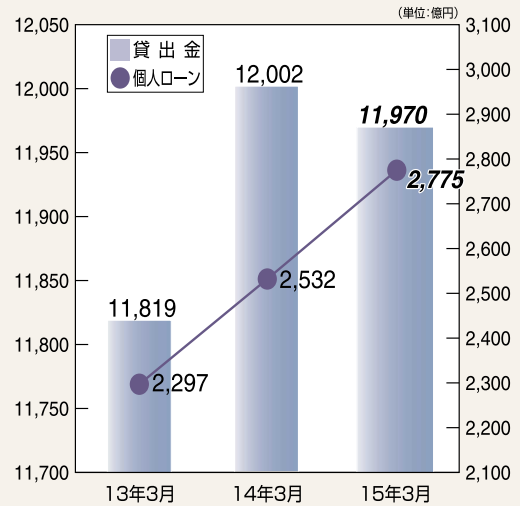


末残ベース(単位: 億円)

	13年3月	14年3月	15年3月
預 金	13,986	14,242	14,486
うち個人預金	8,915	9,279	9,640

貸出金の推移

- 地元中小企業および個人向けを中心に積極的な貸出に努めました。長引く景気低迷による企業の資金需要の弱さに加え、不良債権処理に伴う貸出金償却を進めました結果、前年同期に比べ32億円減少いたしました。

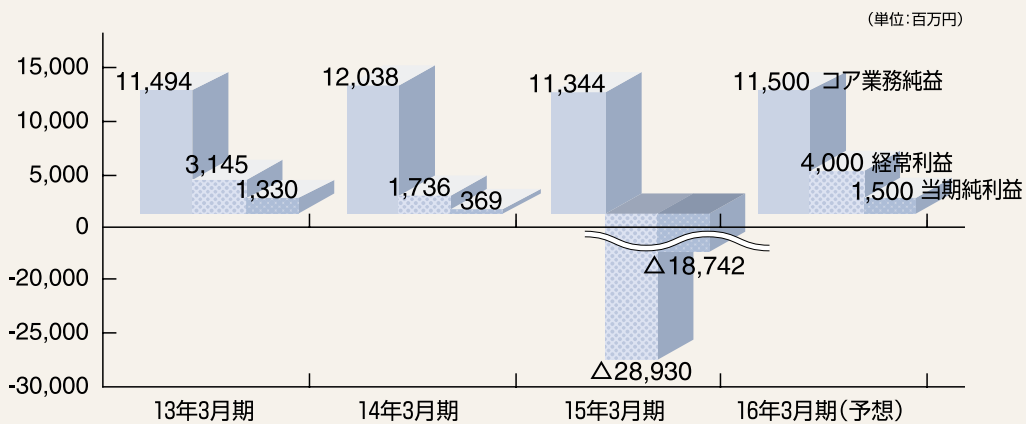


末残ベース(単位: 億円)

	13年3月	14年3月	15年3月
貸 出 金	11,819	12,002	11,970
うち個人ローン	2,297	2,532	2,775

利益の推移(単体ベース) (コア業務純益・経常利益・当期純利益)

- 資金の効率運用と経費削減に引き続き努めました。景気低迷やデフレの長期化による新たな不良債権の発生が懸念される状況のなか、より厳格な資産の自己査定を行い、一層前向きな不良債権処理の実施および有価証券減損処理の結果、当期損失187億円を計上することとなりました。



(単位: 百万円)

	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期(予想)
コア業務純益	11,494	12,038	11,344	11,500
経 常 利 益	3,145	1,736	△28,930	4,000
当 期 純 利 益	1,330	369	△18,742	1,500

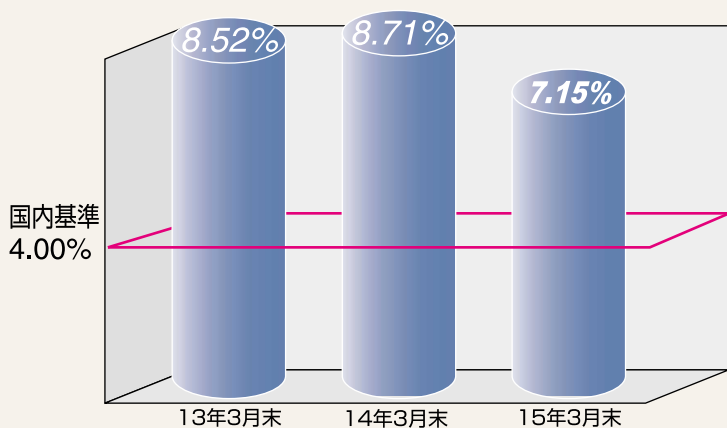
※コア業務純益とは、銀行本来業務による利益を表したもので「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。

[本資料における将来の業績予想は、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご注意ください。]



自己資本比率(単体ベース)

■自己資本比率は銀行の健全性を示す重要な指標の一つであります。
 当行の平成15年3月期は不良債権処理等により前期より低下いたしました。国内基準である4%を大きく上回っております。



	13年3月末	14年3月末	15年3月末
自己資本比率	8.52	8.71	7.15

連結情報 (平成15年3月期)

主要な経営指標

連結経常収益	42,095百万円
連結経常利益	△28,521百万円
連結当期純利益	△18,688百万円
連結自己資本比率	7.18%

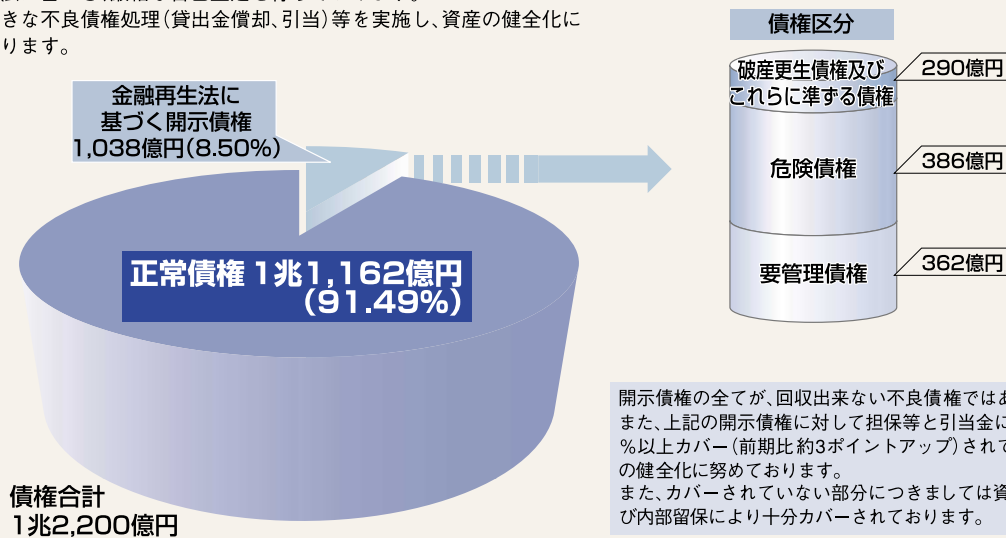
連結子会社 5社

- ひめぎんビジネスサービス(株)
- ひめぎん人材派遣(株)
- (株)ひめぎんソフト
- ひめぎん総合リース(株)
- (株)愛媛ジェーシービー

不良債権の状況

金融再生法に基づく資産査定(単体ベース)

- 金融再生法に基づき、厳格な自己査定を行っております。
- 一層前向きな不良債権処理(貸出金償却、引当)等を実施し、資産の健全化に努めております。



開示債権の全てが、回収出来ない不良債権ではありません。また、上記の開示債権に対して担保等と引当金により約81%以上カバー(前期比約3ポイントアップ)されており資産の健全化に努めております。また、カバーされていない部分につきましては資本金および内部留保により十分カバーされております。

(注)当資料における金額・比率につきましては単位未満を切捨てて表示しております。ただし、「不良債権の状況」の債権額は単位未満を四捨五入して表示しております。

当行の考え方

地域金融機関としてのあり方と貸出運営について

地域金融機関としてのあり方について

おかげさまで創立60周年(平成15年3月)を迎えました。これからも「ふるさと銀行」として地域の発展に貢献し、地域とともに歩んでまいります。

当行は昭和18年の創立以来、地域金融機関として皆さまに親しまれ、信頼される銀行として地域の発展とともに歩んでまいりました。「ふるさとの発展に役立つ銀行」を経営理念の最初に掲げ、預金・貸出金などのお取引を通じ地域の皆さまの資金ニーズに適確にお応えすることはもちろんのこと、地域の文化・芸術活動・諸行事にも積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を深めております。

今後とも、地域の皆さまへの信頼にお応えするためにも健全・堅実経営に徹し、「ふるさと銀行」として、地域の皆さま方への金融サービスの一層の充実に努め、地域産業・経済の発展に貢献してまいります。

<貸出運営についての考え方について>

当行は「ふるさとの発展に役立つ銀行」を経営理念の第一番目に掲げておりますように、安定的な資金供給を通じて地域の経済活動に貢献することが地域金融機関としての第一の使命と考えております。なかでも、地域産業の担い手である地元中小企業・自営業者および個人の皆さまへの融資に重点を置いた貸出運営を継続してまいりました。

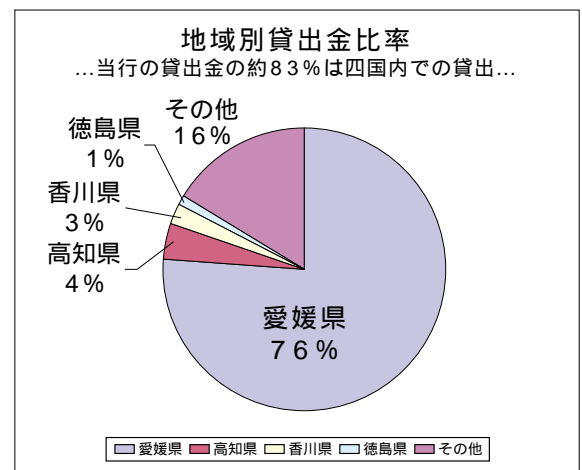
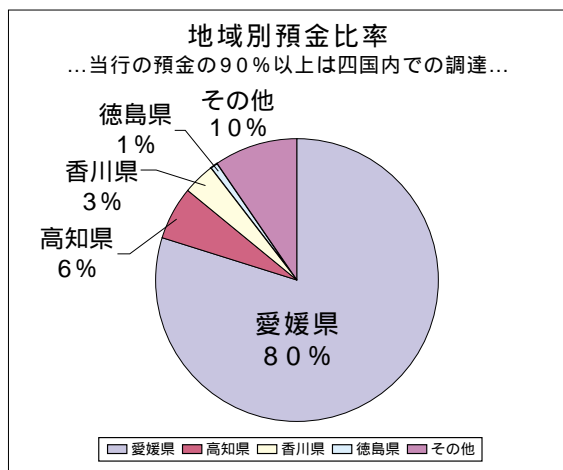
法人のお客さまに対しましては、運転資金・設備資金等多様な資金ニーズに、経営面でのアドバイス等も織り交ぜながら適確にお応えできるよう取り組んでおります。また、個人のお客さまに対しましては、住宅ローン等のご相談をはじめとして、ライフサイクルにあわせた各種ローン商品を幅広く取り揃えております。さらに、ニーズの多様化に対応した新商品の開発にも積極的に取り組んでおります。

このような取り組みの結果、平成15年3月末の中小企業および個人の皆さまへのご融資の当行貸出金に占める比率は件数で99.8%、金額で88.4%となっております。今後とも、地域への安定的な資金供給に努め、地域の皆さま方とともに発展する銀行を目指してまいります。

当行の地域貢献について

地域における預金比率と貸出金比率について

地域金融機関として調達・運用は愛媛県を中心とした四国を主な営業基盤に業務を行っております。当行の地域内預金および貸出金比率は高い水準にあり、地域経済の発展と共に歩んでおります。



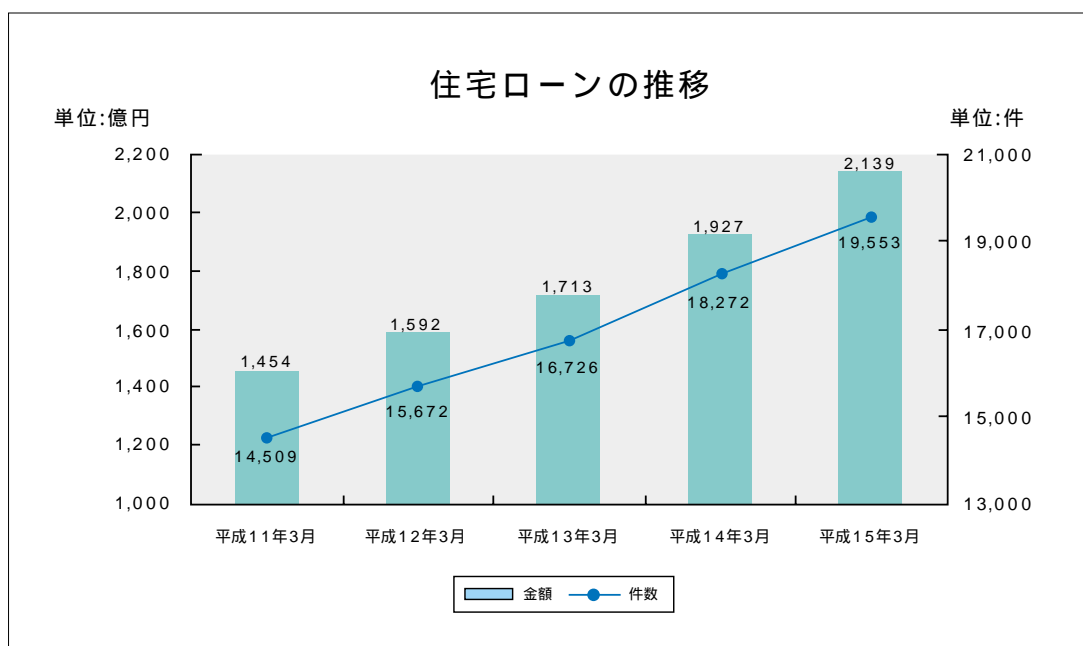


住宅ローンの積極的な取り組みについて

地域の個人のお客様に対し、住宅ローンを積極的に推進しており、平成14年度末の住宅ローン貸出残高は19,553件（前年比7%増）2,139億円（前年比11%増）となっております。

また、愛媛県内3か所に住宅ローンセンターを設置し、専門スタッフがお住まいに関するあらゆる相談を承っております。

（ローンセンター松山では、住宅金融公庫申込期間中は休日も営業いたしております）



地域経済における企業支援の取り組みについて

地域経済の活性化に向け、経営改善に取り組むお取引先の企業の企業再生支援を目的として審査部内に「企業支援室」を平成14年2月に設置いたしました。また、平成15年4月には機能強化と意思決定迅速化を図るため、審査部より独立させ、常務会直轄といたしました。

企業支援室においては

- 支援先企業に対する再生計画策定、財務内容改善の取り組み
- 外部コンサルタントの紹介
- 地域再生機関との連携

などの活動を行っております。

店舗・ATMネットワークの拡充による地域サービスの充実について

当行は全店93店舗のうち四国内に85か所（愛媛県内に73か所）設置しております。またATM・CDは全店で約250か所のうち、愛媛県内には約220か所と集中した設置を行っております。加えて、「JAバンクえひめ」および「四国内第二地銀」との自動機無料提携を実施しており、当行のお客様が無料でご利用できる自動機の設置先は約1,000か所となり、愛媛県下最大のATMネットワークを構築するなど、地域サービスの充実に努めております。

地域振興への取り組みについて

社会貢献活動に対しましても積極的に取り組み、ふるさとの皆さまとの交流を深めております。

愛媛銀行ふるさと振興基金

顕彰事業

第20回ふるさと振興賞の顕彰式が、平成15年4月22日（火）松山全日空ホテルで行われました。本賞は、愛媛県内の産業経済の発展とふるさとの振興を目的とする顕彰制度で、地域の発展に寄与され、優れた実績をあげておられる中堅企業・中小企業その他経営者および、個人の方々を顕彰しています。今回受賞されましたのは次の方々です。

企業の部

株式会社あわしま堂殿（代表取締役 木綱憲和）
 大一ガス株式会社殿（代表取締役 稲葉隆一）
 株式会社山本精工所殿（代表取締役 山本俊夫）

経営者の部

石原修様（株式会社石原自動車教習所 会長）



助成事業

愛媛県内の産業経済の調査研究ならびに発展に寄与すると認められる産業活動、または文化活動を助成することを目的とし、下記の諸団体への助成等を行いました。

平成14年5月 愛媛県日中友好協会

(財)愛媛銀行ふるさと振興基金

〒790-8580 所在地：松山市勝山町2-1 電話：(089)933-1111 内容：地域産業経済文化の発展をはかり、ふるさとの振興に寄与。	設立 昭和58年3月25日 資本金 5億円 当行出資比率 100%
--	--



愛媛銀行陸上部

平成3年4月の発足以来、着実に実力をつけてきた「ひめぎん陸上部」は、今年も第53回愛媛駅伝競走で総合優勝の連覇をするなど、地域スポーツで活躍中です。今後もさらに頑張って愛媛陸上界を盛り上げていきますので、ご声援をお願いします！

愛・愛チャリティーコンサート (オークション&バザー)

平成14年12月7日（土）ひめぎんホールで、愛媛新聞社とひめぎんの共催による「愛・愛チャリティーコンサート」を開催いたしました。この企画は当行の社会貢献活動の一環として平成7年度から始めたもので、1部は、ソプラノ歌手二宮典子・愛媛新聞社音楽部「フェニックス」によるチャリティーコンサート、2部では協賛企業のご好意によるチャリティーオークションと当行役職員が各家庭から品物を持ち寄ってのチャリティーバザーを開催し、約350人の来場者で賑わいました。

なお、当日の収益金・募金は全額松山市社会福祉協議会の「まごころ銀行」に指定預託いたしました。



ロビー展の開催

当行各支店では、皆様に気軽にお越しいただけるよう、明るく楽しいロビーづくりに取り組んでいます。ロビーのスペースを利用した“アートフラワー展”“書道展”“保育園児による作品展”等、地域の皆様の作品を展示し、ご好評をいただいております。



地域の諸行事への参加

当行では、地域とのつながり、人と人とのふれあいを大切にしたいと、各地の諸行事に積極的に参加しています。松山まつりでは、総勢70名が今年は「築城400年記念」ということで「松山」を意識し、女性は『マドンナ』、男性は“のぼさん”の愛した『野球』をテーマに踊りを披露しました。その他、道後温泉祭り、今治市民の祭り（おんまく）、和霊大祭、西条祭り等、さまざまな祭りに参加し、より一層地域の皆様とのふれあいを深めています。

小さな親切運動

当行では、全行員が「小さな親切」運動に参加し、各地でいろいろな活動を続けています。老人ホームの慰問、献血への協力、商店街の清掃等、各地でさまざまな活動を行っています。これからも、地域に根ざしたボランティア活動を地道に展開していきます。

ひめぎん杯テニス大会

平成15年5月11日（日）、第19回ひめぎん杯テニス大会（女子ダブルス）を開催いたしました。当日は県下各地からたくさんの方の参加をいただき、終日熱戦が繰り広げられました。毎年5月の母の日に開催を予定していますので、ふるってご参加ください。

（財）愛媛棋道協会主催 第27回愛媛囲碁フェスティバル

愛媛棋道協会主催第27回愛媛囲碁フェスティバルが平成15年6月1日（日）テレビ愛媛ビビットホールで立見も出るほどの盛況裡に行われました。

ひめぎん の全面的支援により昭和49年に財団法人愛媛棋道協会が設立され、囲碁の普及を通して県民の健全な娯楽の向上と心の豊かさを目的に文化立県愛媛の一翼を担っております。

昭和51年から全国にも例のない日本のトッププロ3名を招き、公開により、トッププロの気迫溢れる真剣勝負を林海峰名誉天元（当協会顧問）の名解説で、四半世紀を超えて毎年楽しんでいただいています。

本年は、午前の部の指導対局で愛媛県アマ選手権者の高下達也五段が林九段に三子局で胸を借り、終盤まで善戦しましたが惜敗しました。

ファン期待のメインイベント、スーパー対決は唯一人の十段、王立誠十段対天下狙いの本命小林覚九段の超豪華カードで、黒の王十段得意の実利戦法に対し、小林覚九段の白のこれまた得意の大模様戦法が盤上に次々に出現し、会場は期待と興奮に包まれました。

序盤から両雄の勝負師の気迫が激突し、秘手、妙手、勝負手の応酬のすえ、黒番王立誠十段の中押し勝で終局いたしました。

林九段の名解説や「次の一手」の興味もあり、碁の醍醐味を満喫できました。

当協会は全国大会に通じる数々の大会をはじめ、県民総合文化祭、知事杯、市長杯などを行うほか、各種囲碁講座を開催し、松山の中心部に年中無休の囲碁センターを開放しております。

また、少年少女のために囲碁クラブを持つ県内小・中学校に碁盤・碁石・碁笥1,500セットを贈るなど、地元社会に貢献しております。



リスク管理体制について

経営上の最重要課題のひとつに位置付けており、リスク管理体制の整備およびリスク管理能力の向上に取り組み、健全性の向上と収益力強化に努めております。

金融市場の自由化、国際化、規制緩和の進展や長引く不況のなかで、信用リスク(貸出先の財務状況の悪化に伴い金融機関が損失を被るリスク)、市場関連リスク(市場金利や株価等の変動により保有する資産価値が減少し、金融機関が損失を被るリスク)、流動性リスク(予期せぬ資金の流出等により、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることなどにより金融機関が損失を被るリスク)、事務リスク(事務面での事故発生等により金融機関が損失を被るリスク)、システムリスク(コンピュータの誤作動等、システムの不備等により金融機関が被るリスク)など各種リスクは多様化・複雑化しており、これらのリスクを網羅的に把握し、従来にも増して適切にコントロールできる総合管理体制の確立が不可欠となっております。

このため、当行ではリスク管理を経営の最重要課題のひとつと位置付け、経営体力に見合った適正なレベルにリスクをコントロールしたうえで、収益力の強化を図るという健全性・収益性の双方にバランスのとれた経営を目指しております。

この経営方針のもと、現在取り組んでおります第10次中期経営計画における重点施策のひとつに「自己責任原則に基づいたリスク管理の強化」を掲げ、各種リスクへの管理強化ならびにリスク管理手法の高度化に努めております。

また、リスク管理体制を確立するため、総合的視野に立ったリスクの分析・検討を行う「リスク管理委員会」を設置しており、これらリスク管理に係る情報は全て経営陣に報告され、経営会議において協議される体制をとっております。さらに、リスクの全体的な把握とリスク管理体制の適切な運営と統括・検証を行うため、平成14年8月に検査部内に「リスク管理統括室」を設置しました。

当行の主なリスク管理体制は次のとおりです。

信用リスク管理体制

貸出資産の健全性を維持向上するため、平成13年に当行の貸出の基本的考え方や業務指針等を「融資基本行動規範(クレジットポリシー)」として明文化し、営業店における融資案件の取り上げおよび審査部における案件審査につきましては、この「融資基本行動規範」に基づくことを徹底しております。

また、信用リスク管理体制を充実させるための基本的なインフラとして、新信用等级付制度を制定し、与信先の信用度を客観的・統一的尺度で評価することにより与信先管理の徹底を図っております。加えて、リスク分散という観点から与信限度額を設定することにより与信先が特定先・特定企業グループさらには特定業種に偏らないよう留意した取り組みを行っております。一方では、経営改善に取り組む取引先企業の正常化支援を目的として平成14年2月に審査部内に「企業支援室」を設置、平成15年4月には審査部より独立させ常務会直轄とし、機能強化と意思決定の迅速化を図るなど、地域経済の活性化に積極的に取り組んでおります。

なお、当行では金融検査マニュアルを参考にした査定基準により、年2回、営業店および本部各部署がそれぞれ所管する資産ごとに自己査定を実施しております。この査定結果に基づき、貸出金償却・貸倒引当金等を算定し決算に反映させております。

さらに行員の研修につきましては定期的な集合研修や臨時審査役研修、融資業務トレーナー制度など種々のカリキュラムを取り入れ審査能力の向上に努めております。

ALM管理(資産・負債の総合管理)ならびに市場関連リスク管理・流動性リスク管理体制

金融の自由化、金融技術の革新が進むなか、多様化・増大するリスクに対応しながら収益性の高い経営体質を確立するために、当行ではALM委員会を設置し毎月開催しております。ALM委員会では、リスクの状況把握と金利、為替等の予測、資産・負債のコントロール、収益拡大と安定等についての分析・検討を行い、経営の健全性維持に努めております。

さらに平成13年4月に最新の金融工学に基づくALMリスク管理システムを導入し、金利変動や価格変動に伴う市場関連リスクや流動性リスクの総合的な把握、経済・金融環境分析による金利シナリオ作成、統計的手法による将来の収益とリスクの把握を行うなど、リスク管理の高度化・精緻化に取り組んでおります。



また、市場関連リスクに加え、信用リスクを含めた財務リスク全体の総合的な把握もALM委員会を中心にっており、今後ともALM管理体制を一層充実させることにより収益・リスクの最適バランスの確保に努めてまいります。

事務リスク、システムリスク管理体制

「事務は経営の土台である」ということを基本的な考えとして取り組んでおります。当行ではこうした観点に立ち、各業務毎に事務処理手順を定めた事務処理規程の整備、正確かつスピーディーな事務処理をサポートするための各種事務機器類の充実、コンピュータによるシステムガードやシステムチェック機能の強化、バックオフィス等の集中部門への事務集約化等を推進しております。また、行員の教育指導面では、行員の事務知識や管理能力向上のための教育体制の充実、事務部による定期的な臨店事務指導の強化等に努めております。

さらに、コンピュータを利用することによって生じるシステムリスクに対しては厳正な内規に基づく管理・運営体制を整備しております。

また、インターネットを経由した外部不正侵入・破壊・改ざんやフロッピーディスクによる情報の外部漏洩等といった脅威から情報資産を保護するため、各種のシステム対策を実施するとともに、「セキュリティポリシー」を定め、銀行内の各店舗に情報資産保護のため、情報管理責任者・情報管理担当者を指名し、セキュリティ対策を徹底しております。

コンプライアンスへの取り組みについて

コンプライアンスを経営上の最重要課題のひとつに位置付けており、組織的な取り組みを行っております。

法令遵守(コンプライアンス)に対する基本方針

当行では、銀行の持つ社会的・公共的責任を強く認識した上で、「経営理念」のもと、地域社会に貢献し、地域の発展に役立つ銀行を目指すため、全役職員が遵守すべき倫理的規範となる行動の指針として『ひめぎん行員としての行動規範』を制定しております。また、経営情報の積極的開示により、透明性の高い経営を実現することで、お取引先、株主、地域の皆さまのご信頼をゆるぎないものにしたいと考えております。

法令遵守(コンプライアンス)に対する運営体制

当行では平成11年10月に頭取がコンプライアンス宣言を行い、全役職員に徹底を指示いたしました。また、コンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスに関わる諸問題に取り組んでおります。本部各部・各営業店にはコンプライアンス責任者を配置し、コンプライアンスの徹底に努めるとともに、コンプライアンスを統括する部署として検査部内にコンプライアンス室を設置しております。

コンプライアンスの手引書として「コンプライアンス・マニュアル」を全行員に配布し、集合研修や店内研修等を通じて、コンプライアンスに関する知識の習得・意識の高揚を図っております。また、コンプライアンスの実践計画として「コンプライアンス・プログラム」を策定し、コンプライアンス体制の強化に取り組んでおります。

配当政策について

社会性・公共性のある金融機関として、安定的な配当の継続を重視しております。

当行は、社会性・公共性のある金融機関として、長期にわたり安定的な収益基盤の確保に努めるとともに、配当につきましても長期的・安定的な継続を重視しており、長年にわたり1株につき5円配当を実施してまいりました。平成14年度の配当につきましても前年と同様1株につき5円(うち中間配当2円50銭)といたしました。

今後につきましても、激しい環境の変化に対応するため内部留保の拡充に努め、経営体質の強化と業績の向上による安定的な配当を続けてまいりたいと考えております。

進展するIT(情報技術)への取り組みについて

最先端の次期バンキングシステムの構築に取り組んでおります。

次期バンキングシステムの概要について

平成12年4月にNEC(日本電気株式会社)と共同で西日本アウトソーシングセンターを設立し、基幹システムのアウトソーシングを実施しております。平成14年5月に新勘定系端末、新情報系端末(パソコン)マルチメディア対応ネットワークを全営業店および本部に展開すると同時に事務センターにバックオフィスを開設し、新端末設置店から電子画像処理を活用した集中処理や、営業店における印鑑照合の電子化を実現いたしました。また、平成14年1月に新インターネットバンキングを開始、平成15年5月には渉外支援、融資支援、新国際系、新経営管理システムの稼働に加え、CRM(カスタマー・リレーションシップ・マネジメント)システム連係を実現しました。

今後も、システムの安定稼働を最重要課題として取り組みながら、勘定系ホストシステムの最先端次期バンキングシステムへの更新を目指します。

アウトソーシングと次期システムの狙い

業界の垣根を越えた再編や異業種からの参入など、我々銀行業界を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、この競争の中、お客さまのニーズを先取りし、最高品質の金融商品、サービス、情報などを迅速に提供できることが、勝ち抜くための条件と考えております。そのためには、最先端のIT(情報技術)を駆使した金融システム開発が必要不可欠であり、情報化投資コストの増大が金融機関にとって大きな経営課題となっております。このことに対して、他の金融機関では既存の共同センターを利用する、あるいは合併、業務提携によりシステム共同化を図る等のケースが相次いでおりますが、当行では独自性を維持しつつ積極的な情報化を推進し、かつ経営の質を重視したローコスト・オペレーションを実現するために、NECと共同で金融システムのアウトソーシングセンターを設立いたしました。

また、システム構築にあたっては、全ての業務活動を『お客さま』中心に再編成する抜本的改革案をまとめ、システムに反映させております。これにより、サービスの品質向上、店舗網・店舗特質を活かした最適なサービスの提供、競争力の強化、大幅なコスト削減、人材活用などを実現し、“ひめぎんブランド”の高品位化を図ってまいります。

お客さまへのサービスの向上

- ・24時間365日サービスの実現に向けた基盤を完備いたします。
- ・多機能ATMの充実やインターネットバンキングなど、マルチチャネルサービスのインフラを整備いたします。
- ・口座開設店しか受付できなかった諸手続きを、当行の全ての店舗網で利用可能にいたします。

新商品開発、営業力の強化

- ・マーケティング、情報分析において最先端の分析手法を用い、営業活動の強化を図ります。
- ・CRMシステムを構築し、お客さまのお取引状況や営業活動情報、市場実態などをもとに、お客さまのライフスタイルに応じたメリットのある商品やサービス・情報を最適な時期に最適な方法で提供できるようになります。
- ・柔軟な新商品開発を可能にするオープン情報技術による国内初のトータル・バンキングシステムを構築します。
- ・当行全店における情報をパソコンネットワークにより銀行全体で共有することで、業務知識、技能レベルの向上を図ります。

事務の合理化・効率化に向けた抜本的改革の実施

- ・営業店事務を抜本的に改革し、電子画像処理の新勘定系端末や印鑑照合機を活用し、後方事務をほぼ全廃、お客さまをお待たせしない一線完結処理を実現いたします。
- ・パソコンを活用した融資審査業務ワークフロー、内部事務ワークフローを構築し、事務の合理化・効率化を強力に進めてまいります。

経営資源の戦略的配分

- ・地域銀行としての強み、得意分野を強化し、組織・事業・店舗網再編への柔軟な対応を可能にするシステム基盤を構築いたします。
- ・ITを最大限活用したALM、信用リスク管理など、リスク管理体制の一層の高度化を目指します。



ひめぎんTOPICS 2003

一新商品・新サービス

お客様の多様なニーズにお応えできる新商品・新サービスの開発に取り組み、更なる金融サービスの向上を図ることが情報化時代の金融機関の使命であると考えております。当行はこれからも、迅速で的確なそして快適な金融サービスをご提供できるように努めてまいります。



新発売「ひめぎんおまとめローン」

平成14年10月1日より、「ひめぎんおまとめローン」を発売いたしました。使いみちは自由で、消費者金融を含めた借換資金にも対応可能な全く新しい商品です。FAX・メールオーダーでの予約申込が好評です。

「住活ローン・おまとめ型」(15年2月発売)とあわせてご検討ください。



新発売「ひめぎんおまかせ住宅ローン」

マイホーム購入におけるあらゆる必要資金に対応でき、一定の条件のもと担保評価額プラス500万円まで借入可能な、新しい住宅ローンです。

お客様の「夢」を強力サポートいたします。

平成15年5月1日より取扱開始しました。

生命保険窓口販売について

当行では平成14年10月1日より生命保険の窓口販売を開始しました。

ゆとりあるシルバーライフの形成のために、また相続対策として、ライフサイクルのさまざまな目的でご活用ください。

取扱店/全店

取扱商品(平成15年7月2日現在)

- ・たのしみVA住友生命保険
- ・年金航路.....安田生命保険
- ・ドリームセレクト.....日本生命保険
- ・M-VA三井生命保険
- ・フェアウェイ.....第一生命保険
- ・5年ごと利差配当付個人年金保険 ...損保ジャパンひまわり生命保険



店舗外現金自動設備の新設

14年 9月 フジグラン西条SC

(西条市新田字北新田235番地)

共に創ろう誇れる愛媛

愛媛の元気創造を目指して

「愛と心のネットワーク」で元気な愛媛を創造

愛媛が活気あふれる地であるように、「第五次愛媛県長期計画」の基本理念「共に創ろう誇れる愛媛」のもと、これまでもさまざまな取り組みを行ってきました。その成果を一層実りあるものへと、そして愛媛の元気をさらに回復しようと、新たにさまざまなプロジェクトを立ち上げ、積極的に推進していくこととなりました。

経済不況、雇用不安、少子・高齢化など厳しい社会経済状況のなか、県政を推進していくには、「愛と心のネットワーク」で元気な愛媛を創造することが重要になります。

これらのプロジェクトの実現により、愛媛の子どもたちに明るい未来を残すため、みなさんの一層の御理解・御協力をお願いします。

元気な人づくり

助け合い支え合う社会の実現

「心の福祉」実現プロジェクト

学校の週5日制に対応し、毎月1回、えひめこどもの城の遊具使用料や総合科学博物館、歴史文化博物館、動物園等の入場・観覧料を無料にする「えひめ家族の日」を創設します。

子育て、介護、高齢者の就労など、生活のあらゆる場面において手助けを求めている人と手助けできる人を仲介し、支援する機能を持つ「えひめ助け合いサポートシステム（仮称）」を新たに構築します。

健康不安解消プロジェクト

より質の高い医療サービスを提供するため、県立病院を充実していきます。医療の高度化に対応できる人材養成のため、県立医療技術短期大学の4年制化による新大学の設置に取り組みます。



教育立県えひめの創造

ひとみ輝くえひめの子育成プロジェクト

パソコンやインターネットなどの情報通信技術を活用した教育を進めるため、県下の小・中・高等学校等をネットワークした学習システム「Esnet（愛媛スクールネット）」の活用を促進します。

文化・スポーツの振興

「えひめ文化」創造支援プロジェクト

生涯学習の情報交換や交流、発表の場として「第16回全国生涯学習フェスティバル」を平成16年秋に開催します。

感動・快汗スポーツプロジェクト

今年10月に開館する新武道館等を積極的に活用し、国際的なスポーツ競技大会の誘致・創設を目指します。





元気な暮らしづくり

環境先進県の実現

四国エコトピア実現プロジェクト

四国全体でゴミを資源として再利用するための調整機能を果たす「四国リサイクル促進機構(仮称)」を創設します。

えひめの「森と水」再生プロジェクト

ダイオキシン類の削減に有効な小型焼却炉「えひめ方式(簡易削減方式)」の実用化を支援します。

安心・安全で快適な生活の確保

安心・安全確保プロジェクト

渇水時における生活水の確保のため、既存水利権の見直しや「海水淡水化プラント」の導入支援等を検討します。

えひめ産業の再生と未来型知識産業の創造

えひめ産業再生支援プロジェクト

「雇用不安の早期解消」のため、緊急地域雇用創出基金の有効活用や、雇用吸収力の高いサービス産業など雇用創出型産業への支援を強化します。

ベンチャーフィールド創造プロジェクト

愛媛大学で確立されたさまざまなタンパク質を高い効率で人工合成する「無細胞タンパク質合成技術」の活用をはじめ、大学発のベンチャービジネスを支援します。



元気の基盤づくり

交通・情報基盤の効率整備

交流増加促進プロジェクト

厳しい国の構造改革・公共投資削減など厳しい財政状況のなか、高速道路のさらなる南予延伸を早期実現するため、地域独自の仕様による新たな整備方式を検討します。

既存インフラ徹底活用プロジェクト

既に整備されている交通基盤を最大限に活用するため、瀬戸内しまなみ海道の島内道路、今治小松自動車道などの未整備部分の早期開通を図るほか、公共交通機関の乗り継ぎが効率的にできるように改善していきます。

魅力あるまちづくり

「住みたいえひめ」創出支援プロジェクト

愛媛の優れた素材をPRし、商品化をめざす「愛媛いいもの再発見」運動を推進します。

新・地方自治の確立

「四国はひとつ」実践プロジェクト

平成17年3月末をめどとした「市町村合併」を支援するとともに、県と市町村との連携を強化します。

「四国はひとつ」をめざした四国づくりに向け、四国税(水源税・産廃税等)の創設や遍路道の改良等、4県が一体となって取り組みます。

県政改革実感プロジェクト

県民本意の県政への改革を進めるため、県の既存制度を徹底して見直します。

県民の利便性を高めるため

各種行政手続がインター

ネットなどのできる

「電子県庁」の段階的

実現を目指します。



知事への提言

知事への提言ポスト

県施設や市町村の窓口などに置いてある「知事への提言ポスト」のはがきを使って提言をお寄せください。

政策提言ファックス通信

住所、氏名、電話番号をお書き添えの上ファックスで次のところへお寄せください。

県 庁 FAX089-945-4200

知事への電子メール

県のホームページにも「提言コーナー」を設けています。知事へのメールアドレス chijimail@pref.ehime.jp 県のホームページ <http://www.pref.ehime.jp>

預金業務

暮らしにうるおいを、そしてゆとりと安心を育むために始めてみませんか。

お客様にとって有利で便利な預金を選んでいただけるように、各種商品を取り揃えておりますので、ご利用ください。

お手元に便利なひめぎんの総合口座を

種類		特色と内容	期間	1回のお預け入れ額
総合口座	普通預金	1冊で4つの働き 支払う、貯める、借りる、家計簿の4つの機能を1冊の通帳にまとめた便利な口座です。給料、年金、配当金などの自動受取り、公共料金などの自動支払いに暮らしの便利帳としてご利用ください。 1カ月間のご入金・お支払いの合計が自動記帳される「やりくり上手」もご利用になれます。	出入れ自由	1円以上
	定期預金		3カ月・6カ月・1年・2年・3年・4年・5年	1万円以上
	公共債	従来の総合口座に公共債がセットされました。ご入用の際は公共債を担保としてご利用になれます。		5万円以上
普通預金	家計簿がわり、サイフがわり 手軽に出入れできます。利息のつくサイフとしてご利用ください。	出入れ自由	1円以上	
貯蓄預金	少しでも有利に 預金残高に応じて、5段階の金利が適用される有利なシステムです。いつでも自由にお預入れ、お引出しいただけます。その上、カードによるお預入れやお引出し、残高照会も可能です。普通預金とのスウィングサービスもご利用できます。(手数料無料)	出入れ自由	1円以上	
通知預金	短期運用 まとまったお金の短期間のお預入れに有利です。	7日以上	3万円以上	
納税準備預金	備えあれば憂いなし 納税のために日頃からお準備いただく預金です。	納税の際引出し	1円以上	
当座預金	安全・能率的 商取引において、安全で能率的な小切手・手形がご利用できます。	出入れ自由	1円以上	
譲渡性預金 (NCD)	余裕大口預金の短期運用に 満期前でも譲渡により資金化出来る、安全で有利な短期の運用手段です。	2週間以上 2年未満	5千万円以上 1円単位	

外貨の運用もできます

種類	特色と内容	期間	1回のお預け入れ額
外貨預金	外貨で預金 米ドル・スイスフランなどの主要外国通貨のお取扱いをしています。種類は普通預金・定期預金の2種類があり、利率はお預け入れの時期や通貨の種類で異なります。	普通 定期 出入れ自由 1週間以上 1年まで	1通貨単位 100通貨単位





育つ楽しみ、有利な定期預金

種類	特色と内容	期間	1回のお預け入れ額
すえひろ定期預金	育つ楽しみ 1度お預入れになればあとは満期日があるたびに自動的に利息が元金に加算されて継続されますので、書替の手間がはぶけて楽しみも一層ひろがります。	1カ月 3カ月 6カ月 1年・2年 3年・4年 5年・7年 10年	定期預金の種類により異なります。
いしずえ定期預金	くらしの大黒柱 期日がくればお利息は自動的にご指定の預金口座に振込まれ、元金だけが自動的に継続されます。収穫の喜びも同時に味わえる便利な預金です。		
ほのぼの定期預金	大切な年金を有利に運用 ほのぼの倶楽部会員（ひめぎんでの年金受給者サークル）の方に100万円まで金利0.5%、100万円超350万円まで金利0.1%優遇いたします。（優遇金利については平成15年5月1日現在のものであり、予告なく変更する場合があります。）	1年 （証書式） （通帳式）	10万円以上
新型期日指定定期預金	ダンゼン有利 1年複利で高利回りです。しかも1年据置き後なら、1万円以上の金額で一部支払いができ、また、いつでも満期指定が可能でいつでもお引出しができますから暮らしにピッタリの預金です。	1年据置後、3年までの間でいつでも自由に指定できます。	100円以上 300万円未満
スーパ一定期	目的に合わせたコース選びが魅力 市場金利に連動して利率が変わる預金ですから、高利回り、そのうえ安全です。運用資金や使用目的に合わせて、好きなプランをお選びください。個人の場合、半年複利で大変有利です。さらに1年据置き後なら、1万円以上の金額で一部支払いができます。	1カ月・3カ月・6カ月 1年・2年・3年 4年・5年・7年 10年、1カ月超5年未満の期日指定	1円以上
変動金利定期預金	金利動向に応じた長期運用に お預入れ後、6カ月毎に適用利率が市場の金利動向に応じて変動します。	3年	1円以上
大口定期預金	余裕大口資金の運用に お客さまとの相対で金利を決める安全で有利な運用手段です。	1カ月以上5年以内	1千万円以上 1円単位

知らないうちに貯まる積立預金

種類	特色と内容	期間	1回のお預け入れ額
カリメロ夢物語	目標に合わせて有利に貯める 積立方法「定額積立」「増額積立」「臨時積立」の3種類、いつでも一部出金可能。預入期間1年以上で、自動的におまとめ定期を作成します。	定めなし	1万円以上
ニュージャンボ	くらしにジャンボ 1回1回の積立金をおトクな複利で運用、積立金やボーナスの増額もOK、1年据置き後は、ご入用時にご入用額を自由にお引出しできます。	1年以上	5千円以上 （千円単位）
定期積金 （スーパー積金）	堅実な資金作り 目標と期間を決めて毎月きまった額を積立て、くらしの設計にピッタリの貯蓄です。お仕事の資金づくりにもお役にたください。	6カ月以上 5年まで （1カ月単位）	千円以上 （千円単位）
自由積立金 （定期預金）	気軽に貯める どなたでもお気軽にできる、積立式定期預金です。ご都合に合わせて何回でもご自由に積立てられます。	1年・2年・3年	100円以上
財形預金	働く人の財産づくり お使いみちに制限はありません。進学、結婚、海外旅行、老後の生活設計などライフプランにあわせた資金づくりに最適です。給料から天引きされますので知らぬ間に大きく貯まります。分離課税適用預金のため預入限度はありません。	3年以上	千円以上
	老後の資産形成のために 年金受取型財形の預金です。退職後も、お利息に税金がかかりません。財形住宅預金と合算して元利合計550万円まで非課税となります。	5年以上	千円以上
	住宅取得の資金づくり 住宅取得を目的とした貯蓄です。財形年金預金と合算して元利合計550万円まで非課税となります。	5年以上	千円以上

貸出業務

あなたのすばらしい人生の「夢」を実現してみませんか。

ひめぎん は、あなたの豊かなライフプラン実現のために目的に応じた各種ローンをご用意しておりますので、お気軽にご利用ください。

個人向けローン お住まいのために

種 類	資金の用途	金 額	期 間	申込時年齢等の条件	担 保
住 宅 ロ ー ン	マイホームの新築購入資金にご利用ください。	10万円以上1億円以内 土地のみ取得する場合は 5,000万円以内	1年以上 35年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時75歳以下	要
おまかせ住宅ローン	マイホーム取得に伴う、あらゆる必要資金。 (借換及び中古マンション購入資金を除きます。)	10万円以上5,000万円以内 土地のみ取得する場合は 3,000万円以内	1年以上 35年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時75歳以下	要
住宅ローン100	マイホームの新築購入資金にご利用ください。 (中古物件購入資金・土地購入資金にはご利用できません。)	10万円以上3,000万円以内 対象物件が市制施行地区 外の場合も同様	1年以上 35年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時75歳以下	要
無担保住宅ローン	マイホームの新築購入資金、建売住宅購入資金、中古住宅購入資金	10万円以上600万円以内 (必要資金の100%以内)	1年以上 15年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時70歳以下	不要
無担保住宅ローン1000	マイホームの新築購入資金、建売住宅購入資金、中古住宅購入資金及び諸経費支払資金	10万円以上 1,000万円以内	1年以上 35年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時75歳以下 住宅ローン500万円以上のご 利用が必要	不要
リフォームローン	住宅の増改築、補修資金、住宅環境の改善資金等	10万円以上 500万円以内	1年以上 15年以内	無担保 申込時20歳以上65歳以下 完済時75歳以下	不要
賃貸住宅ローン	賃貸住宅、アパート、賃貸マンションの新築、増改築資金としてご利用ください。	100万円以上 1億円まで	1年以上 35年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時75歳以下	要
定期借地権ローン	定期借地権付住宅(マンション含む)の新築・購入に係る借地保証金支払資金	10万円以上 600万円以内 (必要資金の100%以内)	1年以上 15年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時70歳以下	不要
二世世代アパートローン	賃貸住宅・アパート・賃貸マンションの新築・増改築資金	100万円以上 1億円まで	1年以上 35年以内	申込時年齢が子供が20歳以上 65歳以下で子の完済時年齢が 75歳以下 但し、親は貸出時70歳以下	要
エコローン	バリアフリー工事、湯水対策資金、省エネに関する資金、環境改善資金	10万円以上 500万円以内	1年以上 16年以内	申込時20歳以上60歳以下 完済時75歳以下	不要

お子様の進学等のために

種 類	資金の用途	金 額	期 間	申込時年齢等の条件	担 保
学 資 ロ ー ン	お子様の入学時、進学時の学資及び学生生活費用	500万円まで	在学期間+5年6ヵ月	申込時20歳以上65歳以下 完済時70歳以下 在学期間中は必要時に繰返し 利用。卒業後に分割返済。	不要

お車に関することなら

種 類	資金の用途	金 額	期 間	申込時年齢等の条件	担 保
マイカーローン	自家用車・自動二輪車・修理費用、車検費用、免許取得費用	10万円以上 300万円まで	6ヵ月以上 7年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時72歳以下	不要
エコ・マイカーローン	ハイブリッドカー・電気自動車・グリーン税制対象車の購入資金	10万円以上 500万円まで	1年以上 10年以内	申込時20歳以上60歳以下 完済時75歳以下	
ニューマイカーローン	自家用車(新車・中古車)、自動二輪車、車検費用、修理費用、免許取得費用 <small>インターネット・FAXで予約申込できます</small>	10万円以上 300万円まで	6ヵ月以上 7年以内	申込時20歳以上65歳以下	



実現したい目的のために

種 類	資 金 の 使 途	金 額	期 間	申 込 時 年 令 等 の 条 件	担 保	
人生のいろいろなライフステージに(消費者ローンこれさえあれば)	出 産 育 児 ロ ー ン	出産のための通院・入院費用 育児にかかる諸費用(ベビー服・乳 母車・離人形等)	10万円以上 100万円まで	6ヵ月以上 7年以内 教育ローンは 9年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時72歳以下 (教育ローンは完済時70歳以下)	不要
	教 育 ロ ー ン	入学金、授業料、下宿代の敷金、 受験に必要な資金等	10万円以上 300万円まで			
	ト ラ ベ ル ロ ー ン	旅行費用(海外・国内)	10万円以上 100万円まで			
	ス ポ ー ツ ・ カ ル チ ャ ー ロ ー ン	スポーツクラブ、カルチャーセンター等 入会費用 スポーツ用品購入資金 カメラ、ピアノ、健康器具等購入資金	10万円以上 200万円まで			
	パ ソ コ ン ロ ー ン	個人用パソコン・ワープロ及びそ の付属品、ソフト購入資金	10万円以上 100万円まで			
	リ ビ ン グ ロ ー ン	家具・インテリア用品購入資金 電化製品購入資金 美術品・装飾品購入資金	10万円以上 200万円まで	1年以上 7年以内	申込時20歳以上60歳以下 完済時67歳以下	
	ブ ラ イ ダ ル ロ ー ン	結婚にかかわる諸費用 (結納、式場費用、新婚旅行、婚 約指輪等)新婚家庭に必要な物品 購入資金及び借家敷金等				
	介 護 ロ ー ン	満60歳超の高齢者または心身障 害者の介護のための費用(ただし 入院費用については、50万円を限 度とする) 介護のための器具の購入資金				
	墓 地 ・ 墓 石 ロ ー ン	墓地・墓石の購入資金 仏壇・仏具の購入資金 葬儀・法事の費用	10万円以上 300万円まで	6ヵ月以上 7年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時72歳以下	
	ス ピ ー ド ロ ー ン	用途自由(事業資金は除く)				

いざという時に

種 類	資 金 の 使 途	金 額	期 間	申 込 時 年 令 等 の 条 件	担 保
お 使 い 途 自 由 の ロ ー ン	用途自由(事業資金は除く)	30万円コース 50万円コース 100万円コース	契約期間3年	申込時20歳以上65歳以下 50万円コースは年収150万円以上 100万円コースは年収300万円以上	不要
		一律50万円		申込時20歳以上65歳以下 安定した収入がある人	
		一律30万円		申込時20歳以上65歳以下 主婦の方も対象	
		50万円以内		申込時20歳以上67歳以下 安定した収入のある方 主婦の方も対象	

ワンランクアップのくらしのために

種 類	資 金 の 使 途	金 額	期 間	申 込 時 年 令 等 の 条 件	担 保	
お 使 い 途 自 由 の ロ ー ン	ジ ャ ン ボ ロ ー ン	長期大型ローンです。結婚、出産、教育 等のライフサイクル費用に。	100万円以上 1,000万円まで	1年以上 15年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時75歳以下	要
	ニ ュ ー ス ピ ー ド ロ ー ン <small>インターネット・FAXで予約申込できます</small>	健全なくらしのための資金ならば 用途自由	10万円以上 200万円まで	6ヵ月以上 7年以内	申込時20歳以上65歳以下	不要
	パ ー ト ナ ー ロ ー ン		10万円以上 300万円まで	6ヵ月以上 7年以内	当行とお取引のある企業の役 職員従業員及び公務員の方 申込時20歳以上65歳以下 完済時72歳以下	不要
	住 活 ロ ー ン		100万円以上 5,000万円まで	1年以上 35年以内	申込時20歳以上65歳以下 完済時75歳以下	要
	W i t h Y o u ロ ー ン		用途自由(事業資金等は除く)	10万円以上 200万円以下	6ヵ月以上 5年以内	申込時20歳以上 完済時70歳以下

ローンの「おまとめ」のために

種 類	資 金 の 使 途	金 額	期 間	申 込 時 年 令 等 の 条 件	担 保
お ま と め ロ ー ン	他行・他社(消費者金融も含む)の 債務借換資金(事業資金は除く)	10万円以上 200万円まで	6ヵ月以上 5年以内	申込時20歳以上 完済時70歳以下	不要
住 活 ロ ー ン ・ お ま と め 型	他行・他社(消費者金融も含む)の 債務借換資金 諸費用含む (事業資金は除く)	100万円以上 2,000万円まで	1年以上 20年以内	申込時25歳以上65歳以下 完済時75歳以下	要

留意事項：ご利用に際してはご返済計画に無理がないか良くご検討ください。

事業者向けローン

種類	資金の用途	金額	期間	主な条件	担保
キャピタルローン	事業資金の長期大型ローンです。設備資金や運転資金として事業発展のための安定資金としてご利用ください。	1,000万円以上 2億円まで (100万円きざみ)	運転10年 設備20年	企業および個人事業主の方で同一事業を3年以上営業されている方	要
事業者ローン	事業の運転資金・設備資金にご利用ください。	100万円以上 5,000万円まで	運転10年 設備15年	信用保証付 (原則担保付)	要
		100万円以上 2,000万円まで	運転10年 設備15年	信用保証付(無担保) (ベスト)は愛媛県のみ取扱い	-
		100万円以上 8,000万円まで (100万円きざみ)	運転5年	信用保証付 (原則無担保) (ニューベスト)は愛媛県のみ取扱い	-
カードローン (1000)	事業用資金にご利用ください。	100万円以上 1,000万円まで (10万円きざみ)	2年	信用保証付	要 (500万円超)
グッドラックローン	事業用資金にご利用ください。	300万円以上 5,000万円まで (100万円きざみ) <small>(特に必要かつ適切なもの 7,000万円まで)</small>	2年	信用保証付	-
ひめぎんISOローン	ISOシリーズ規格 認定取得必要及び規格認定の維持・ 更新費用	運転30百万円まで 設備100百万円まで	運転5年以内 設備15年以内	ISO規格認定を計画されている 方、または取得済の方 (信用保証付可)	必要に 応じ 徴求
スピードビジネスローン 「大声援」(証貸タイプ)	事業用資金にご利用ください。	50万円以上 300万円まで (10万円きざみ)	1年もしくは2年	・業歴2年以上、従業員30名規模までの法人、または個人事業主(青色申告を行っている方で保証会社の保証を受けられる方) ・お申込み時点で当行と消費性ローン以外の融資取引がない方	不要

地域向けローン

あなたの町づくり、村づくりのパートナーとして

種類	資金の用途	金額	期間	主な条件	担保
ふるさとづくりローン	地域の共同利用施設等の新設・ 改修等にご利用ください。	制限しない。ただし構 成員1世帯当たり、原 則として50万円以内	原則として 5年以内	愛媛県の町内会、青年団、 婦人会など地域共同体	-

代理貸付

各種の代理貸付業務を取り扱っております。特に政府関係機関の資金は長期低利で利用される方にとって魅力のある資金といえます。

(代理貸付受託機関)

住宅金融公庫 労働福祉事業団 国民生活金融公庫 中小企業総合事業団 中小企業金融公庫
農林漁業金融公庫 勤労者退職金共済機構等 社会福祉・医療事業団 年金資金運用基金

信託代理店業務

ひめぎんでは住友信託銀行、みずほ信託銀行の信託代理店として、お客様の多様な信託ニーズにお応えできるよう金融サービスの充実に努めております。

信託業務のご案内

取扱業務	内容
公益信託	企業や個人の方から信託されたお金を、奨学金や科学技術研究あるいは社会福祉など、公益のために役立てる制度です。社会的意義が高いことから、税制面での優遇措置も講じられています。
土地信託	所有している土地を信託することによって有効利用の企画から資金調達、建物の建築、テナントの募集、建物の管理など煩わしい手間をかけず不動産収入の確保が図れます。運用の成果は配当として受取ることができます。
特定贈与信託	特別障害者の皆様の将来の生活や療養のために、親族や篤志家が金銭などの財産を信託するものです。信託財産を管理・運営し、障害者の生活費や医療費などを定期的に給付します。この特定贈与信託を利用すると、6,000万円までの贈与財産について贈与税が非課税となる恩恵があります。
年金信託	年金信託(適格退職年金・厚生年金基金)は将来の年金、一時金の支払原資を掛金として事前に計画的に積立てる制度で、数多くの企業で導入されています。企業は退職金制度を年金制度へ移行することによって資金負担が平準化され、掛金は全額損金とされます。
特定金銭信託・ 特定金外信託	投資家の皆様からお預りした資金を、皆様の運用指図に基づき、有価証券投資や事務管理を行います。なお、運用指図については、投資顧問会社に委任することになります。
金銭債権の信託	企業が取引により発生した売掛債権・手形債権等の金銭債権を信託し、信託受益権を投資家に販売することにより資金調達を行う業務です。調達会社にとって、信託した金銭債権についてオフバランス化が図れるとともに、比較的低コストの資金調達が可能となります。
証券代行	株式の発行会社に代わって株主名簿の管理、その他株式事務全般をお手伝いするものです。証券取引所への新規上場のための要件のひとつとして、名義書換代理人の設置が義務付けられ、各証券取引所の規定で定められています。



証券業務

金融自由化のなか、お客様の幅広い金融ニーズにお応えします。

高度化・多様化した金融ニーズを充足いただくために、これまでに蓄積してきたノウハウや情報をもとに、幅広い金融サービスを提供できる体制を敷いております。

証券業務のご案内

取扱業務	内 容
社 債 受 託 業 務	長期安定資金の調達を計画されている事業会社のお客様には有利でメリットの多い社債発行のお手伝いと手続一切をお引受けいたします。
有 価 証 券 投 資 業 務	銀行の支払準備資産として安全性、流動性、収益性を三本柱として有価証券に投資いたしております。資産運用上、貸出金に次ぐ重要な分野であり、支払準備の健全性の見地から安定的な保有と運用に努めております。
証 券 代 理 業 務	銀行の固有業務の一つで株式払込金受入業務(会社の設立・増資)や配当金、元利金支払業務のほか公社債登録業務などを行っております。
公共債の窓販・ディーリング業務	新発国債の窓口販売・既発公共債の売買を行っております。窓販・ディーリング業務はお客様のニーズにお応えすべく、積極的かつ継続的に推進しております。なお新たに個人向け国債の募集が開始され、第1回目が平成15年3月10日に発行になりました。
投資信託の窓販業務	投資信託の窓口販売を、出張所を除く全店において行っております。お客様のニーズにお応えするため、販売商品を幅広く取り揃えております。
公 共 債 の 引 受 け 業 務	国や地方公共団体などの発行する債券の引受シ団の一員として、これら団体の資金調達に協力しております。

国際業務

地域の皆さまの国際化ニーズを応援します。

国際的な業務展開をお考えの皆さまのために、当行は蓄積したノウハウを生かし、豊富なメニューを取り揃えてバックアップさせていただきます。

海外コルレス網

当行では、欧米・アジアをはじめとする海外63行とコルレス契約を結び、お客様のグローバルニーズにお応えしております。

国際業務のご案内

種 類	サ ー ビ ス 内 容	
外国為替サービス	電 信 送 金	海外の受取人の取引銀行へ電信で送金いたします。お急ぎの場合に便利です。
	普 通 送 金	海外の受取人の取引銀行へ郵便を利用して送金いたします。
	送 金 小 切 手	ご送金される地域の銀行を支払場所とする送金小切手を作成し、お渡しします。
	送 金 受 取 り	海外からのご送金は、ひめぎんのお取引口座をご指定頂くことでお受取りになれます。
	外 国 通 貨	米ドル通貨の売買を行っております。その他の外国通貨についても、ご相談をお受けしています。
	旅 行 小 切 手	海外旅行に安全で便利な旅行小切手の販売と買取りを行っております。米ドルの他、5種類の通貨を販売しております。
貿易金融サービス	外 国 通 貨 建 の 小 切 手 の 取 立 ・ 買 取 り	海外からお受取りになる外国通貨建の小切手や外国の財務証券などの取立、買取りなどを行っております。
	輸 出	輸出信用状の通知、輸出手形・小切手の取立、買取りなどのお取り扱いをしています。
	輸 入	輸入信用状の発行、代金決済、輸入ユーザンスなどのお取り扱いをしています。
	外 国 為 替 関 係 保 証	荷物引取保証・入札保証・契約履行保証・前受金返還保証・関税保証などの、各種保証業務を行っております。
外貨金融サービス	先 物 為 替 予 約	為替リスクを回避するため、輸出入・外貨預金・外貨融資などのお取引にかかわる先物為替予約のお取り扱いをしています。
	外 貨 預 金	米ドル・スイスフランなどの主要外国通貨建のお取り扱いをしています。種類は普通預金・定期預金の2種類があります。利率はお預入れの時期や通貨の種類などにより異なります。
	外 貨 融 資 (イ ン バ ク ト ロ ー ン)	米ドルなどの主要外国通貨建で、資金使途の制限なくご融資を行っております。
ご相談情報提供	対 外 貸 付	外国政府・外国企業・海外現地法人等へのご融資を行っております。
	信 用 調 査	海外企業の信用調査や各国の政治・経済・金融などの各種情報サービスをご提供します。
	投 資 ・ 貿 易 相 談	海外投資・貿易に関するあらゆるご相談にお応えしております。
	ひめぎん外為ニュース	東京外国為替市場・ニューヨーク市場の相場、ユーロ市場の金利動向などを日々お知らせしています。

サービス業務

暮らしやビジネスにお役に立てるよう、きめ細かいサービスを用意しております。

サービス

業務内容	特 色
各種自動受取	給与・ボーナス・年金・配当金などを自動的にお受取りできます。
各種自動支払	各種公共料金、税金、NHK受信料、家賃、会費などの代金を預金口座から自動的にお支払いできます。
自動送金サービス	毎月お客様の預金口座から一定日に一定額を自動的に引落とし、指定口座へ振込みを行うサービスです。家賃・学費・駐車料金・会費などの振込みに便利です。
スウィングサービス	余裕資金の高利回り運用のため、普通預金残高の一定額をめどに普通預金から定期預金へ、定期預金から普通預金へ振替えます。
家計簿サービス	普通預金の毎月の入金額および出金額の合計を任意の指定日でまとめて通帳に表示いたします。通帳を家計簿がわりにお使いいただけるたいへん便利なサービスです。手数料はかかりません。
メールオーダーサービス	営業時間にご来店できないお客様のために、郵送による商品および取引のお申込みができるサービスで、各種申込書は自動機コーナーに設置しております。(愛媛県内店のみでのお取り扱い)
貸 金 庫	預金証書、株券、権利証、貴金属などを金庫内に安全に保管します。大切な財産を火災や盗難から守ります。
夜 間 金 庫	お店の売上金などを銀行の営業時間終了後、年中無休でお預かりいたします。
保 護 預 り	有価証券など大切な貴重品を一時お預かり、保管するサービスです。
E - N E T 代 金 回 収 サ ー ビ ス	お客様にかわって集金先の取引金融機関から口座振替により代金を回収いたします。
With You Net	お客様のパソコン・iモード対応携帯電話を利用して、24時間・365日いつでもどこでもお手軽にお取引いただけます。個人のお客様に限定したサービスです。
FAX振込サービス	専用の振込依頼書をご記入後、お客様のFAXでFAX振込センターへFAXするだけで振込ができます。

為替手数料

(平成15年3月末現在)

項 目	内 訳	窓口利用	機械(ATM)利用			
			当行キャッシュカード	現金・他行キャッシュカード		
振 込 手 数 料	同 一 店 内	3 万 円 未 満	210円	無 料	無 料	
		3 万 円 以 上	420円	無 料	無 料	
	当 行 本 支 店 宛	3 万 円 未 満	315円	105円	105円	
		3 万 円 以 上	525円	210円	315円	
	他 行 宛	電 信 扱	3 万 円 未 満	630円	315円	420円
			3 万 円 以 上	840円	420円	630円
		文 書 扱	3 万 円 未 満	630円		
			3 万 円 以 上	840円		

(消費税を含む)

保管等手数料

(平成15年3月末現在)

項 目	金 額
貸 金 庫	容量によって 年間6,300円～16,380円
夜 間 金 庫	基本手数料(年間)75,600円 夜間金庫専用入金帳(1冊) 6,300円
封 緘 保 護 預 り	年間 4,800円
残 高 証 明 書	1通 315円
専 手 形 用 紙 代	1枚 525円
自 己 宛 小 切 手 発 行 手 数 料	1枚 525円
再 発 行 手 数 料	1件(通帳・証書・カード)1,050円
国 債 保 護 預 り	無 料

(消費税を含む)

その他手数料

(平成15年3月末現在)

項 目	金 額
With You Net	ご利用手数料 年間 1,260円
パソコンバンクサービス	基本料金 月間 5,250円
データ伝送サービス	基本料金 月間 5,250円 使用料金 データ5千件未満 5,250円 使用料金 データ5千件以上 10,500円
FB専用機サービス	基本料金 月間 3,150円
テレバンキングサービス	基本料金 月間 1,050円
パソコンサービス	基本料金 月間 1,050円 振込振替サービス 月間 2,100円
ファクシミリサービス	基本料金 月間 1,050円 振込振替サービス 月間 525円
テレホンサービス	基本料金 無 料 振込振替サービス 月間 525円
自動送金サービス	105円 + 為替手数料 機械利用(当行キャッシュカード)
FAX振込サービス	基本料金 月間 1,050円

(消費税を含む)



With You Net

(ひめぎんインターネット・モバイルバンキングサービス)

お手持ちの『パソコン』・『iモード対応携帯電話』を利用して、以下のサービスが24時間・365日いつでもどこでもお手軽にお取引いただけます。

サービスメニュー		インターネットバンキング (パソコンから)	モバイルバンキング (iモード対応携帯電話から)
普通預金・貯蓄預金	口座照会【残高・入出金明細照会】		
	お振込		
	お振替		
定期預金	明細照会		-
	お預入れ・お引き出し		-
積立定期預金	明細照会		-
	お預入れ		-
各種届出・変更	住所変更届出		-
	公共料金自動支払お申込み		-
	暗証番号変更		
	メールアドレス変更		
お取引確認	お取引結果照会		

システムメンテナンス等のため運休する場合があります。また、お取引内容、お取引時間によっては翌日または翌営業日のお取扱いとなる場合があります。

ファームバンキングサービス

お客様のコンピュータ・オフコン・パソコン・ファクシミリ、テレホン等の通信メディアと ひめぎん のコンピュータを通信回線で結ぶことにより各種情報をリアルタイムで提供いたします。また、これらファームバンキングサービスをご利用いただくことにより、事務合理化や資金運用の効率化のお手伝いをいたします。

種類	残高照会サービス	明細照会・振込入金サービス	振替サービス・ひめぎん振込サービス	総合振込サービス	給(賞)与振込サービス	口座振替(E-NET)サービス	地方税納付サービス
ひめぎんパソコンバンクサービス お客様のパソコンと当行のコンピュータを公衆回線等で直接結び、各種データ、情報の受け渡しを行います。	●	●	●	●	●	●	●
ひめぎんデータ伝送サービス お客様のコンピュータ、オフコン、パソコンと当行のコンピュータを公衆回線等で直接結び、各種データ、情報の受け渡しを行います。	●	●	●	●	●	●	●
ひめぎんF B専用機サービス お客様のF B専用機と当行のコンピュータを電話回線で結び、各種データ、情報の受け渡しを行います。	●	●	●	●	●	●	●
ひめぎんテレバンキングサービス お客様の多機能電話等と当行のコンピュータを電話回線により、(株)NTTデータのアンサーセンター アンサー(ANSER)システム 経由で接続、照会や振込・振替の依頼に迅速にお応えします。	●	●	●				
ひめぎんパソコンサービス お客様のパソコンと当行のコンピュータを公衆回線等により、(株)NTTデータのアンサーシステムを介して接続することにより、お客様からの照会、振込・振替の依頼にお応えします。	●	●	●				
ひめぎんファクシミリサービス (株)NTTデータのアンサーシステムを介して、お客様のファクシミリあてに残高や入出金明細、振込入金明細をお知らせします。	●	●	●				
ひめぎんテレホンサービス (株)NTTデータのアンサーシステムを介して、お客様の電話あてに残高や入出金明細・振込入金明細をお知らせします。	●	●	●				

サービス内容

残高照会サービス

お取引口座の残高が即時にご照会できます。

入出金明細・振込入金明細照会サービス

お取引口座の入出金や振込入金の内容が即時にご照会できます。

ひめぎん振込・振替サービス

会社やご家庭にしながら、プッシュホン、ファクシミリ、またはパソコンを操作するだけで即座に資金移動を行います。

総合振込サービス

支払代金等のまとまった件数の振込を一括して受け付け、指定日にお振り込みします。

給(賞)与振込サービス

従業員様の給与、賞与等の振込を一括して受け付け、指定日にお振り込みします。

口座振替サービス

(E-NET代金回収サービス)
売掛金等の回収の口座振替依頼を一括して受け付け、指定日に売掛金を回収し、お客様の口座に入金します。

地方税納付サービス

従業員様の住民税の納付ができます。

サービス業務

ますます便利な「ひめぎん」のキャッシュコーナー

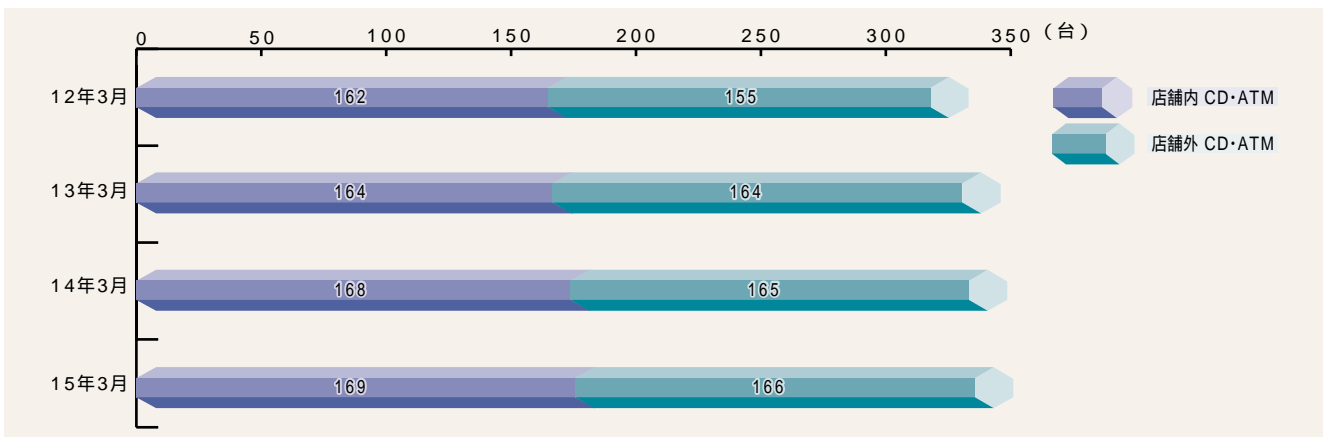
サービス業務

取引内容	取扱時間								
	8:00	8:45	9:00		15:00	17:00	18:00	19:00	20:00
お引き出し	平日	105円							105円
	土				105円				
	日祝				105円				
お預け入れ 残高照会 通帳記帳 お預け替え	平日								
	土								
	日祝								
お振込み	平日	105円							
	土								105円
	日祝								105円
定期預金 お預け入れ ご解約	平日								
	土								
	日祝								

■の時間は、手数料105円がかかります。
お取扱時間、お取扱業務は、店舗により異なります。
他行のカードでのお引出しには、別途105円の手数料がかかります。
振込手数料については、別表(24ページ)をご覧ください。

お振込予約は、翌営業日のお振込となります。
現金でのお振込は、8:45からのお取扱になります。
1月1日は、休業させていただきます。
土・日・祝日の17:00～19:00は当行カードのみご利用いただけます。

CD・ATMの設置状況



相談サービス

< 産業経済研究所 >

当行では、地元企業の方からご要望の多い、金融・経済動向や雇用関係に関する講演会・ご相談にお応えするために、公務ふるさと部内に「産業経済研究所」を設けております。そのほか、官公庁、諸団体、会社等の職員、社員研修や新入社員の教育訓練において、講師を派遣するなど地域との関わりをより一層深めておりますので、お気軽にご連絡ください。

相談内容

新入社員、女子社員等社内研修 各種講演会の開催

連絡先

「産業経済研究所」(公務ふるさと部内) 電話 089-933-1111



役員



頭 取 いっしき てつあき
(代表取締役) 一色 哲昭



専務取締役 なかやま こうじろう
(代表取締役) 中山 紘治郎



専務取締役 ごとう ますみ
(代表取締役) 後藤 益己



常務取締役 さえき さだむ
佐伯 決



常務取締役 いけだ きみひろ
池田 公英



常務取締役 とくなが おさむ
徳永 理

取 締 役 なかお かずお
中尾 和夫

取 締 役 こいけ あきひこ
小池 昭彦

取 締 役 さかい みつぎ
酒井 貢

取 締 役 あおき ひろし
青木 浩

取 締 役 や の ゆきよし
矢野 之祥

取 締 役 ひさが ひでお
久賀 秀雄

取 締 役 たまい ひでとし
玉井 英俊

常勤監査役 ひ の としお
日野 利夫

監 査 役 ゆだて しんじ
弓立 眞二

監 査 役 つぼうち ひろみつ
壺内 紘光

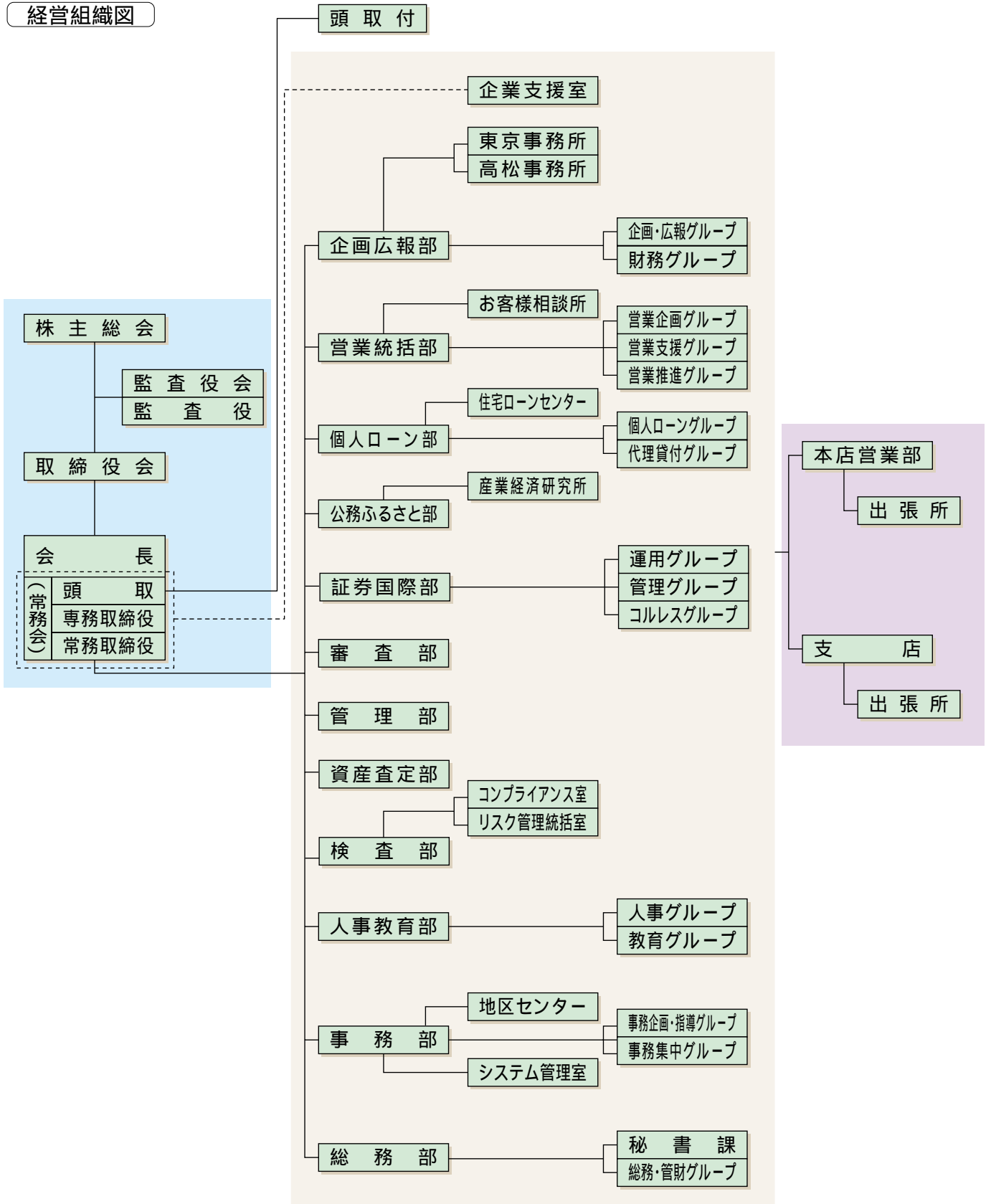
監 査 役 すやま しょうぞう
須山 昌三

(注) 監査役 弓立眞二氏、壺内紘光氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

(平成15年7月1日現在)

組織・ひめぎんグループ

経営組織図



(平成15年7月1日現在)



企業集団の概況

事業の内容

当行および当行の連結子会社5社は、銀行業務を中心に、リース業務など金融サービスを提供しております。その事業系統図は、下図のとおりであります。

当期の業績（連結）

預金・譲渡性預金は、個人預金中心に推進いたしました結果、期末残高は前期比241億円増加し、1兆4,474億円となりました。貸出金につきましては、不良債権処理を引き続き進めるとともに、地元中小企業および個人向け中心に積極的な貸出に努めました結果、期末残高は前期比89億円減少し、1兆1,942億円となりました。また、有価証券は、公共債を主体に運用いたしましたが、期末残高は前期比291億円減少し、2,113億円となりました。

損益状況につきましては、資金の効率運用と徹底した経費削減に努めましたが、株価下落に伴う有価証券の減損処理114億73百万円に加え、景気低迷やデフレの長期化による新たな不良債権の発生が懸念される状況のなか、より厳格な資産の自己査定を行い、一層前向きな不良債権処理281億3百万円を実施いたしました。これに伴い経常損失285億21百万円、当期純損失186億88百万円の計上となりました。

なお、国内基準による連結自己資本比率は前期比1.61ポイント低下し、7.18%となりましたが、経営の健全性の判断基準である4%を大幅に上回っております。

〔グループ会社の概要〕



子会社

(平成15年3月31日現在)

会社名	所在地 所電 地話	取扱業務	設立	資本金 (百万円)	当行出資 比率(%)
ひめぎん ビジネスサービス 株式会社	〒790-0011 松山市千舟町5-6-1 (089)932-3486	・現金等の精査・整理業務 ・特定取引先の集金業務 ・現金自動設備の保守管理業務 ・文書等の集配および輸送車の 運行管理業務	昭和59年7月2日	10	100
ひめぎん 人材派遣 株式会社	〒790-0874 松山市南持田町27-1 (089)932-1303	・人材派遣業務	平成元年9月6日	30	100
株式会社 ひめぎんソフト	〒790-0874 松山市南持田町27-1 (089)943-7767	・コンピュータのソフトウェアの開発 ・コンピュータによる情報処理 ・コンピュータシステム運営、管理 ・コンピュータソフトに伴う付属機器 の販売 ・FB端末機の取扱い	昭和59年12月6日	30	5
ひめぎん 総合リース 株式会社	〒790-0878 松山市勝山町2-1 (089)933-8383	・リース業務 ・投資・抵当証券業務	昭和61年5月10日	110	100
株式会社 愛媛 ジェ・シー・ビー	〒790-0878 松山市勝山町2-4-7 (089)921-2303	・クレジットカード業務 ・信用保証業務	昭和62年1月29日	50	90



株式および従業員の状況

資本金の推移

(単位：億円)

年月日	増資額	増資後	摘要
昭和43年4月1日	4.0	10.0	株主割当1：0.5、公募200万株
昭和46年4月1日	6.5	16.5	株主割当1：0.5、公募300万株
昭和48年10月1日	9.5	26.0	株主割当1：0.5、公募250万株
昭和51年4月1日	2.6	28.6	無償1：0.1
昭和52年10月1日	15.4	44.0	株主割当1：0.5、公募220万株
昭和58年4月1日	17.9	61.9	株主割当1：0.2、無償1：0.125、公募340万株
平成元年5月19日	1.1	63.0	無償1：0.05
平成2年2月22日	72.4	135.4	公募1,000万株
平成2年5月18日	-	135.4	無償1：0.1
平成12年10月1日	0.1	135.5	平成12年10月1日をもって、北温信用組合と合併いたしました。合併比率は、当行1：北温信用組合0.25であります。

株式

(平成15年3月31日現在)

区分	株式の状況(1単元の株式数1,000株)							単元未満株式の状況
	政府及び地方公共団体	金融機関	証券会社	その他の法人	外国法人等(うち個人)	個人その他	計	
単元株主数	1人	86	19	985	21(-)	4,940	6,052	
所有株式数	42単元	67,713	5,563	36,554	694(-)	37,374	147,940	1,877,664株
割合	0.03%	45.77	3.76	24.71	0.47(-)	25.26	100.00	

(注) 1.自己株式121,218株は「個人その他」に121単元、「単元未満株式の状況」に218株含まれています。
 なお、自己株式121,218株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は118,218株であります。
 2.「その他の法人」欄には、証券保管振替機構名義の株式が4単元含まれております。

大株主一覧

(平成15年3月31日現在)

氏名又は名称	住所	所有株式数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
株式会社みずほコーポレート銀行	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号	5,941千株	3.96%
株式会社あおぞら銀行	東京都千代田区九段南1丁目3番1号	5,352	3.57
株式会社新生銀行	東京都千代田区内幸町2丁目1番8号	3,792	2.53
愛媛銀行行員持株会	愛媛県松山市勝山町2丁目1番地	3,364	2.24
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1丁目1番5号	3,065	2.04
住友生命保険相互会社	東京都中央区築地7丁目18番24号	2,999	2.00
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1丁目26番1号	2,795	1.86
住友信託銀行株式会社	大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号	2,372	1.58
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区大手町2丁目6番4号	2,292	1.53
大王製紙株式会社	愛媛県伊予三島市紙屋町2番60号	2,053	1.37
計		34,028	22.71

(注) 上記の信託銀行所有株式数のうち、当該銀行の信託業務に係る株式数はありません。

1株当たり配当等の推移

区分	平成14年3月期	平成15年3月期
1株当たり配当額	5.00円	5.00円
(1株当たり中間配当額)	(2.50)	(2.50)
配当性向	202.53%	%

(注) 平成15年3月期中間配当についての取締役会決議は平成14年11月18日に行いました。

従業員の状況

区分	平成14年3月31日	平成15年3月31日
従業員数	1,492人	1,471人
男子	1,040人	1,026人
女子	452人	445人
平均年齢	37年7月	37年10月
男子	42年4月	42年7月
女子	26年9月	26年11月
平均勤続年数	15年7月	15年8月
男子	19年10月	20年0月
女子	5年10月	5年11月
平均給与月額	396千円	393千円
男子	479千円	477千円
女子	205千円	203千円
嘱託・臨時従業員・海外現地採用者	335人	325人

(注) 1.従業員数は、嘱託及び臨時従業員を含んでおりません。また、出向者を含んでおります。
 2.平均年齢、平均勤続年数および平均給与月額はそれぞれ単元未満を切り捨てて表示しております。
 3.平均給与月額は、3月の時間外手当を含む平均給与月額であり、賞与は含んでおりません。